

● 趣 旨

GIGAスクール構想により、学校教育は新しい教育活動を取り入れる時代に入った。その中でも、へき地・小規模校では小規模性・遠隔性のデメリットを克服しメリットを伸ばすために、早くからICTを活用した遠隔双方向教育や個別最適化教育を推進している。これによる教育活動内容の多様化と教育効果も広がりを見せている。このようなICT教育で、へき地・小規模校は何ができるか、どのように変わっていくかを捉えたい。

● 発表テーマとパネリスト

- ◇ 「へき地・小規模校でICTを活用すると何ができるか」
豊田 充崇 氏（和歌山大学教授）
- ◇ 「ICT活用教育でへき地教育はどのように変わるか」
福 宏人 氏（鹿児島県徳之島町教育長）
- ◇ 「へき地・小規模校のICT教育を教育委員会としてどのように推進していくか」
十河 昌寛 氏（北海道積丹町教育長）
- ◇ 「大学でへき地・小規模校に対応したICT活用指導力をいかに養成するか
—遠隔地をつなぐへき地複式模擬授業を通じて」
前田 賢次（北海道教育大学札幌校准教授）

司会 赤間 幸人（北海道教育大学教職大学院特任教授）

- そ の 他 本フォーラムは、記録として録画し、全国に配信する予定です。
予めご了承ください。

【お問合せ先】 北海道教育大学教育研究支援部連携推進課（担当 小林）
電話：011-778-0942 ファクス 011-778-8376
E-mail：crc@j.hokkyodai.ac.jp